廿一日刊
岩城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十四　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日休刊）

町民に誤解される惧があること
火花を散らした質問戰
六町議の聲明書を中心に
活況を呈した平町會

平町電燈値下げ問題に關する醜聞、水道擴張工事起債認可反對に關する件等で期待を集めてゐた平町會は三十日午後一時から開かれたが、之れより先議場には傍聽人續々と詰めかけ定刻までには滿場立錐の余地なく會場の外部に溢れ近來にない活況を呈した、午後一時半議員着席、出席議員二十八名（猪狩庄平、石山治三郎欠席）議案の審議に入る前馬目雅治氏は

平町電燈問題に關して野崎、井上兩議員並に馬目（武）綠川兩議員も之に關連して金品を收受したかの如き噂が立てられてゐるのは遺憾であるから各氏の辯明を求めたい。

と辯明を求めたのに對し、井上野崎兩氏から、絶對に噂の如き事實がないと辯明し、之に關連して二三議員から質問、應答あり、次いで千葉彦治氏は

平町では水道擴張工事起債の認可を申請中であるが、議員中、野崎滿藏君は先に起債認可委員として運動し乍ら今日に至つて擴張工事に反對の意見を唱え剩へ主務省に對して起債認可反對の運動をなしたと傳へられてゐるが、かゝる行爲は政治道德及び議員道德に欠けてゐる行爲と思ふ。擴張工事が否なりと確信したならば何故正々堂々と正規の手續を履んで反對せぬか。而して又野崎君等の聲明書によれば三十七萬圓を要する工事が僅か三萬圓内外にて出來るかのやう町民に誤解される虞れがあるのは遺憾である。

と野崎氏を攻擊し、萩原氏も亦町民の誤解を招く惧れある点で千葉氏と同樣の意見を吐いたのに對し野崎氏から答辯あり、この間櫻井、馬目（雅）等議員の茶目氣分の質問、應答等傍聽者を笑はせた等賑やかで討論的な質問戰は午後六時に至るも盡きずこの儘では何時まで續くか豫想が出來なかつたが、萩原、佐々木兩議員が、議題ともならぬ問題で貴重な時間を費す必要がないと質問打切りの動議を出して大多數の贊成あり、漸く質問を打切り、議案の審議に移つたが野崎氏等の聲明書を中心とした質問、應答の要領を記せば左の如くである。

一、聲明書によれば三十七萬圓の工事は平町會で遮二無二議決したとあるが、實際は提案後委員會で審議し一ヶ月余の日時を費して議決したものである。

馬鹿氣た質問戰を打切つた平町會は午後六時、一時休憩後再開議案を可決した後花澤議員の動議で平町電燈値下問題について詳細な調査を遂げる事となり、伏見町長から左の如く委員任命し、尙ほ過般、上水道擴張起債認可運動の委員を辭職した野崎滿藏氏の代りに吉田五平氏を補し更に平町大工町踏切りを跨線橋に改修すべく調査する事となり左の委員を任命した。

▲電燈値下調査委員　花澤兎五郎、六、馬目雅治、吉田五平、馬目武之助、千葉彦治、高橋龜松、綠川喜三郎

▲大工町踏切委員　佐々木龍若、櫻井清、吉田寅之輔

電燈値下げ問題
具体化して委員任命

り「十月一日から法律が改正されて保證人は金を返す義務がなくなつた」と言つて軍治を喜ばせ十圓を捲きあげやうとして書面に署名捺印をさせ之を平區裁判所に提出して支拂命令を發したので軍治は驚いて平警察署に詐欺の告訴を提起した。

平町の起債認可
愈々確實となる
大藏省から促されて
火防衛生關係の書類提出

平町水道擴張工事の起債認可は野崎滿藏氏等の反對運動が續けられてゐたにも拘はらず比佐代議士等の熱心な陳情等で順調に進み認可愈々確實となつて來たが、大藏省では認可するのには平町の火防と衛生方面の調査書が必要であると提出方を促して來たので平町役場では書類を作製し數日前比佐代議士の手を經て大藏省に提出した。

▲小高町の秋市　相馬郡内にて皮切の同郡小高町の秋市は十一月七日同町に於て行ふ筈なるが、例年の通り各地方より諸商人來町し見世物は女角力等ありて定めし賑ふ事であらう。

少女の感心な行爲に
小柳知事も感激
片倉製糸の佐藤こめを
知事の名義で表彰

既報—仙臺市宮城野原樂師堂にて來たので鯨岡警部補は三十一日同人を呼び出し調べたが、同人は相當の家柄に生れ實兄は目下仙臺市第四聯隊長を勤めてゐる事が判明した。

平町會雜感

▲櫻井氏が花澤氏に對し「湯の中で屁をひつたやうだ」と言つたので取消せと迫る「國家の用語だ取消さぬ」

▲野崎氏香野水道課長を捕へて健忘症にかゝつてゐると喰つてかゝつたが、御自分も擴張工事議決の際電話で贊成した事は忘れた由であるから之亦健忘症と言はうか。

▲井上氏「電燈値下問題で金は貰はぬ、某議員の如く住吉屋で飯も喰はぬ」と辯明すると野崎氏「飯を喰つたのは個人として親友の馳走に預つたに過ぎぬ、西山東電重役は吾々の同志である」

▲水道擴張工事の反對者六名の説明を聞き度いと迫られた時佐藤岩、武田元、柳下元三町議ブル〳〵。

「水道擴張工事反對の理由は結局大瀧發電所の水槽から分水せんとする計劃ですか」と詰けば永山町議「その通りです」佐々木町議隣席で「成程」

不況に沈む
平の花柳界

平町地方は秋風吹き初めてからは益々不景氣が深刻となり本年もあと二ヶ月を餘すのみとなつた故か金融界も極度に逼迫して來た、景氣、不景氣が直接に影響する花柳界を見るとまるで火の消えた樣で正月を當て込みの鞍替が恒例として行はれ出し今年は不景氣の結果か住替等が多く平署には毎日藝妓、酌婦、娼妓等が押しかけて來るが、金融が圓滑でない證據には新に酌婦になる者が非常に多くなつて來た、更に外來者を相手にして生活してゐる平町の人氣が一番良く解るのは旅館の景氣であつて活氣があれば從つて宿泊人も多くそれだけ平町に金が落ちる譯であるが、上・中・下各流の旅館三十八軒の營業狀況を見ると一日の平均宿泊人は百五十名内外、滯在者や下宿人を除くと一日泊りの旅館は百名内外となり一軒で平均五名位の客しかない事になる、以上の如くに花柳界は勿論の事旅館等も客を相手の營業は極度に行詰つて來た不景氣に惱まされてゐる。

豐間村で
子供を轢く

平町鈴木自動車部平、江名間乘合自動車第四五三號を目黑政雄（二二）が運轉し二十八日午後四時半頃江名町に向ふ途中豐間村大字豐間字柳町地内に於て道路で遊んでゐた中西ヨシ（五ツ）を轢き重傷を負はせたので平署で取調中である。

印刷物は　加納活版所

▲坑夫重傷　石城郡湯本町入山炭礦坑夫小野寺三郎（三〇）は三十日午後六時頃坑内で作業中落磐のため重傷を負ひ入山病院で手當中である。

福清の玉香が自由廢業を決するまで

裏面に情夫がある

平町田町福清方抱藝妓玉香事小野田すい(二二)は三十日朝平警察署に出頭し、藝が出來ないと身体が弱いといふ理由で自由廢業をする旨届け出でたが、同問題は平町花柳界に意外な衝動を與へたらしく藝妓置主はかゝる惡例を殘されては將來の營業に非常な支障を來すといふので玉香が自由廢業を決意した動機を調査した處、左の如き事實が判明したのでその旨一應平署に通知した。

玉香は最近小名濱町白子喜行といふ男に思ひを寄せ時折り逢つてゐるが、藝妓をしてゐては思ふやうにもいかぬため自由廢業をして夫婦にならうと決心したものらしい。

原町通信

新田川の軌道工事着手

東京營林局にては原町營林署管内の新田川の軌道敷設に付き昨年來より測量中の處既に用地の買上げ又は借地等終了したるを以て此程太田秋之助庄司卷造の兩氏に指定請負を爲さしめ去る廿日頃から工事に着手した。

學者連　野馬追觀覽

過日東京衆議院内に開かれた萬國工業大會に出席されたる諸國の代表の學者連は原町無線電信局視察として來る十一月八日來町するを期として相馬名物の野馬追を觀覽せしむる事となり來月三日相馬農蠶學校出馬會にて騎馬會を催し出馬方法を協議する筈。

▲ラヂオ無料修理

仙臺放送局にては去る廿八、廿九兩日間原町郵便局にて同地方のラヂオ加入者に對し無料修理を行ひたり。

▲浪江の秋市

双葉郡浪江町の秋市は濱三郡にて最も有名で來月十日より三日間行ふ筈なるが諸商人や芝居、見世物で賑ふ事であらう。

亂暴漁夫

一名檢擧

石城郡小名濱町字米野漁夫平野安吉(三七)同三島長五郎(二七)の兩名は二十四日午後十一時頃同町字古港料理店木幡直(三九)方に至り酒を飲ませろと要求したが拒絶されたので憤慨し直を毆打し更に二十五日午前零時頃同町字橋本佐藤長作(四四)方に至り八ヶ間敷いと注意されたのが癪であると長作の陰嚢を握り潰したので告訴され平署で取調中である。

三人殺しを逮捕するまで

小田部警部(寄)

一、犯罪の動機

(二十)

被害者佐々木千萬吉方にて常に賭博者を集めて賭博を開帳し、千萬吉は自分から胴元となり寺錢を收受し居る内、千萬吉は紺野義見より金十二圓五十錢の借金を爲し居り、加害者は其の支拂を强要すると雖も、之れに應ぜず互に爭論中喧嘩となり其の結果被害者三名を殺害するに至る。

一、被疑者性質、素行、來歴並に生活狀態

被疑者は一見温和の如く認めらるゝも内心甚だ剛腹偏狹にして、常に他人の言を用ひず生業を勵まずして賭事を好むを以て、地方より信用更になく素行不良なるものなり、本人は自已の氏名を記するに足るのみにて、殆んど無教育に等しく、幼少の時は父母の許に生育し、農事の手傳ひを爲し、稍長ずるに及びて他家に奉公し、其の後十數年前現住地に別居妻帶し、現在子供五人を有す、本人は大正五年頃より荷馬車を輓き居りしも、大正十二年中より牛馬商を營みつゝあり、然れ共本人は賭博にのみ耽り居るを以て、赤貧洗ふが如き生活を爲し居れり。

十四、捜査上欠陷と認めたる点

1. 現場の小屋に於て被害者の屍体解剖を爲し、殆んど現場を破壞したる爲め、後日疑問の点發見するも現場を基礎として研究し能はざりしこと(殺人事件は現場保全最も緊要のことなり)

江戸前季節
鳥・鰻
松たけ
料理
鰻蒲燒　魚榮
平町南町平舘隣り
電話四二四番

二葉印刷所
平町字仲町
電話七三四番

外科
一般外科
泌尿科
婦人科
X光線科主任　醫學士　海津俊一
院長　木下寅一
平町田町　新妻由五郎
電四五四
赤心堂病院

磐城共濟病院案内
内科　小兒科　(院長毎日診療)
院長　醫學博士　難波睦
内科部長　醫學博士　中西林藏
外科　内臟外科、整形外科、皮膚泌尿科專門
外科部長　醫學士　氏家憲介
毎日曜手術　醫學博士　桂重次
産婦人科　女子泌尿科
部長　醫學博士　松枝茂
耳鼻咽喉科專門
部長　醫學士　井上俊次郎
毎日曜手術　醫學士　渡部貞助
X光線科　物理學的診療科
主任　醫學博士　難波睦
技師　工藤慶造
衛生試驗所　主任　中西林藏
衛生試驗所　技師　小熊英夫
藥局　藥局長　吉本孝平
本院醫事法制顧問　法學士　岡本治蕃
本院主事　賀澤忠
電話七二番
衛生試驗所、病氣相談所、救療所(共濟病院内)
◆救療を申込るゝ方は當相談所へ御話し下さい
平南町　磐城
電話六四一番
共濟病院
◎入院自炊ノ便アリ　看護婦見習募集

内臟外科
骨關節外科
整形外科專門
藤本順
産婦人科院
婦人科長　木村寅次郎
外科
産婦人科
木村病院
平町新川町(電話一六四)

ユラノスケ粕取燒酎發賣
二合白瓶二十五錢(空瓶交換仕候)
平町四丁目平驛通り
永山酒造店總發賣元
電話二〇七番

大自然の囁き純情溢るる愛と誠と絶泣の青春大悲曲感激の逸作
里の鳴神
原作監督　野村芳亭・脚色　田野高梧・撮影　小田濱太郎
主演　八雲恵美子・代中田雲奈・絹子良眞・結城一郎
出し釀くなも人惡の人一愛妹姉る溢に然自の詩里の和平
……品作大の來近る誇に界斯が竹松そこり譚の此るさ
◆十月三十一日寫眞替
デブチャン
中根龍太郎主演
若月孔雀、浦波須磨子助演
時代戲曲　戀飛脚　(全)
例のデブちやん獨特の好演出であり、オツトリとした時代相を描く。
▼學生優待　土日曜學生デー
中等生　十錢
小學生　五錢
普料金通
平舘
清川莊司主演
常盤操子、櫻井京子助演
大劍戟史　大闘陣　(全)
劍光閃々火花と化して凄氣横溢、悲戀を繞りて哀愁味ある大戟陣。